

真のお父様の聖和6周年を記念し、盛大に「聖和祝祭」

2018孝情天宙祝福式に全世界で28万組が参加



真のお父様の聖和6周年を迎えた天暦7月17日(陽暦8月27日)、韓国の清心平和ワールドセンターで「ムンソンミョン文鮮明 天地人真の父母 天宙聖和6周年記念聖和祝祭・2018 天地人真の父母 孝情天宙祝福式」が盛大に挙行され、世界各地から約3万人が参列しました。祝福式には、世界64カ国から会場に集った約4000組のカップルのほか、インターネット中継を通じて世界194カ国で合わせて約28万組が参加。先祖祝福式と一世未婚霊人祝福式も同時に行われました。第1部の式典に続き、午後からの第2部は「和合統一ハンマダン」ユンノリ大会、第3部は「孝情文化公演」が行われ、この日の行事は夜まで続きました。

「天に向かう孝情、世の光として」をメインテーマに開催された式典は、ソプラノ歌手セイコ・リーさんによるしっとりとした歌声で開幕。記念映像の上映、司会の尹鎭鎬ユンヨンホ・世界本部事務総長による開会宣言のあと、李基誠イギソン・神韓国家庭連合会長が代表報告祈禱を行いました。

式典はこのあと、「孝情文化特別公演」として合間にミュージカルを交えながら、心情的かつ格調高く進んでいきました。

文善進世界会長は「聖和の辞」で、真のお父様の聖和によって人類は「羅針盤」を失い、暗闇に包まれようとしたとき、真のお母様が希望の光として「灯台」のごとく人類を導いてくださったと強調。最後に「お父様、お母様、ありがとうございます!愛しています!」と深い感謝の心情を吐露されました。鄭元周チョンウォンジュ 総裁秘書室長による「追慕の書信」の朗読のあと、会場正面の祭壇上に真のお父様の巨大な尊影が登場。次にステージの下から真のお母様が赤いバラと白いユリの花を手にして現れ、祭壇に献花をされました。

全体でお母様に敬礼を捧げたあと、文孝進ムンヒョウジン様の歌「この世に愛を植えよう(이 세상에 사랑을 심으리)」の前奏が流れ始めると、孝進様家庭の4人のお子様ムンヒョウジンがマイクを手にしてステージに登場。お母様を中央にして一列に並ばれ、合唱隊と共に心を込めて歌い上げる感動的なシーンがありました。

引き続き、祝福式が荘厳な雰囲気なかで執り行われました。

介添え人が入場したあと、主礼の真のお母様が再びステージ中央に登場されました。まず聖水儀式が行われ、未婚の

12カップルと政治・宗教界指導者の代表9カップルがそれぞれ登壇し、お母様が新郎新婦に向けて聖水をまかれました。

聖婚問答に続いて、真のお母様が祈祷され、「墮落した人類は、真の父母を通さずしては天の父母様の前に進むことはできません。真の父母は天の父母様の事情を知り、人類の願いを知り、(今日までの)58年間、多くの祝福家庭を誕生させ、彼らを通して二世・三世たちがきょう、この場で善男善女として祝福をいただくことになりました。天の父母様、どれほどこの1日を待ち焦がれていらっしゃったでしょうか」と語られました。

礼物(指輪)交換のあと、お母様が「聖婚宣布」で「天の父母様と天地人真の父母様の恩賜によって、天宙に聖婚が成立したことを宣布します」と宣言されると、大きなファンファーレが鳴り、会場全体に喜びと感謝の拍手が沸き起こりました。

続いて、真の父母様への花束と礼物が奉呈され、祝福式は閉幕しました。

真のお母様がステージ中央の玉座に着かれ、全体でお母様に敬拝を捧げるとともに、新たに誕生した祝福家庭に対し、

会場全体で祝賀の拍手を贈りました。

引き続き、英国の著名な歌手ポール・ポッツ氏と韓国少女民族舞踊団リトルエンジェルズによる祝歌のあと、「孝情奉獻」の時間となり、孝進様のご長女・信汝シンニョ様の歌声に先導されて、参加者全体で「サランへ」の歌をお母様にお捧げしました。

最後に、マイケル・バルコム・神ヨロツパ圏域総会長のリードで億万歳三唱を行い、真のお母様が退場されたあと、式典は閉幕しました。

昼食の時間には、「孝情宴 分かち合い大祝祭」と称して、参加者全員に弁当が配られ、お母様と食事を共にするひと時を過ごしました。

午後からは「孝情和合統一ハンマダン」ユンノリ大会が行われ、世界から集まった参加者が「孝情」「天苑」「和合」「統一」の4チームに分かれ、それぞれの代表者が熱い勝負を繰り広げました。

また夜には、ポール・ポッツ氏とリトルエンジェルズによる孝情文化公演「The Hope」が行われ、聖和祝祭のフィナーレを飾りました。



①天譜苑の前で行われたテープカット ②祝祷をされる真のお母様 ③建物を聖別される真のお母様 ④天譜苑のロビーを歩かれる真のお母様



①真の子女様から礼物を受け取られる真のお母様 ②世界の大陸会長が真のお母様に礼物を奉呈 ③み言を語られる真のお母様 ④祝勝会場は参加者で満員に ⑤奈良教区成和学生部によるパフォーマンス

天一国の誇らしい勝利者となれ

真のお母様をお迎えして「天譜苑奉獻式」

8月28日午前、真のお母様をお迎えして「天譜苑奉獻式」が天宙清平修鍊苑に新たに建てられた「天譜苑」で行われ、真のご家庭をはじめ、韓国、日本、米国の指導者や祝福家庭などが参加しました。

玄関前でのテープカットに先立ち、真のお母様が祝祷され、「きょうこの天譜苑を天の前に奉獻しながら、ここに登録できるような天一国の誇らしい勝利者が過去、現在、未来に対して、天と全人類が見るときに、一点の汚れもない存在として、祝福家庭として、責任を果たす家庭として、霊肉界が一つとなって揺るぐことのない基準をもって見るときに、多くの不足さを感じています」と指摘。そのうえで「天地人真の父母様、独り娘・真のお母様がいらっしゃるので、命が尽きるその日まで、お母様と一つとなって、天が願われるその基準に到達できる私たちになるため、さらに熱心に精誠を捧げ努力をしまります」と祝福家庭たちに決意を促されました。

最後に「これから成されるすべて日々の上に、未来のすべての子孫の前に、『本当に誇らしく、正午定着、一点の汚れもない先祖だった』と言うことのできる殿堂となりますよう、すべてを聖別して下さり、あなた様が喜んで受け取って下さることを切に切に願いながら、真の父母の名によ

てご報告します」と締めくくられました。引き続き、お母様が天譜苑の1階ロビーに移られ、建物を聖別されました。

天譜苑は、地上4階、地下3階の建物で、以前は修鍊苑の売店「清水聖福殿」があった敷地に新たに建設されました。1階は「真の父母様復帰摂理館」で、復帰摂理の歴史と天の父母様が願われる理想世界のモデルが展示され、2階の「清平歴史館」には、神霊と真理で導いてきた清平摂理の歴史を蘇生期、長成期、完成期、天一国安着時代に分けて紹介。また3階の「名誉の殿堂」は、神氏族メシヤの歴史と使命を教育し、神氏族メシヤの使命を完遂した祝福家庭の勝利を記録する場所です。地下には「清水湯」が移転し、より広く快適な浴室設備が整えられています。



天譜苑全景

“すべてを降ろして真のお母様と一つに”

天宙清平修鍊苑で「祝勝会」

8月28日午前10時から、天宙清平修鍊苑の天城旺臨宮殿で、「天宙聖和6周年記念聖和祝祭・孝情天宙祝福式」と「天譜苑奉獻式」の祝勝会が行われました。

祝勝会では、花束贈呈、祝賀のケーキカットに続いて、全世界の大陸会長7人と新たに神氏族メシヤを勝利した21家庭がそれぞれ、真のお母様に礼物を奉呈しました。

龍鄭植・アジア大陸会長の力強い報告祈禱のあと、天宙聖和6周年記念行事の全体をまとめた映像と天譜苑の紹介映像が上映。また、李基誠・韓国家庭連合会長が天譜苑奉獻までの経過報告を行い、「天譜苑は、(真の父母様が) 私たちをどれほど愛してくださっているかを見せてくださる貴い建物です」と述べ、「私たち全員が縦的横的430家庭を勝利し、永遠に天譜苑に記録されるようになることを真の父母様の前に決意しましょう」と呼び掛けました。

引き続き、真のお母様がみ言を語られ、「皆さんには心と体があります。自分の心が願っても体が言うことを聞きません。どうすれば自分の心と体を統一できるでしょうか。すべてを降ろさなければなりません。……(過去の経験や知識など)すべてを降ろして“無”となり、心と体を一つにして統一された立場で生きるため努力しな

ければなりません」と語られました。

そのうえで、お母様は全責任者に対し、3日間の修練会に参加することを願われながら、「すべての自己中心的な内容を降ろし、新しく真のお母様と一つになり、勝利的な国家の復帰、世界の復帰に向けて自分がどう行動すべきかを考えながら、修練を受けてください。……(修練を通して)皆さんは純金になり、純白にならなければなりません」と語り、み言を終えられました。

引き続き、孝情文化公演が行われ、ソプラノ歌手セイコリーさんの歌のほか、韓日米の代表チームが歌やダンスなどを披露。日本からは奈良教区成和学生部のメンバー38人が、華麗な衣装に身を包んで力強いパフォーマンスを行いました。

公演の途中、真の家庭を代表して文善進様と文善進世界会長が真のお母様に礼物を奉呈されたほか、2017年と18年に世界本部孝情文和苑主催で行われた天一国聖歌作曲コンテストで入賞した作品12曲を収録したCDがお母様に奉呈される場面もありました。

最後に、金起勲・北米大陸会長のリードで億万歳三唱を行い、真のお母様の退場をもって、祝勝会は閉幕しました。

“南北統一” “日韓友好” “世界平和”を祈願して全国縦走

「PEACE ROAD 2018 in Japan」開催

日本全国を自転車などで走破し、朝鮮半島の平和定着と世界平和実現の願いをつなぐ市民参加プロジェクト「PEACE ROAD 2018 in Japan」（主催・同実行委員会）が7月半ばからおよそ1カ月かけて各地で開催され

ました。2013年に日本と韓国の数人の若者が朝鮮半島の平和統一を願い、北海道の宗谷岬から自転車による日本縦断を目指して始まった取り組みは、「PEACE BIKE」の名称を経て2015年からは「PEACE ROAD」として、

毎年夏に世界各地で行われる国際的な平和プロジェクトとなっています。今年は北海道の宗谷岬を7月14日に出発し、山口県下関市を日本のゴールと定め、各地を自転車や徒歩で縦走。途中、地方自治体や韓国民団、朝鮮総連

などを表敬訪問する一方、PEACE ROADの趣旨に賛同する人々が集まり、各地で関連行事が開催され、地元の新聞やラジオなどで多数取り上げられました。



海岸で清掃活動をしたあと記念撮影

宮 城

7月15日、16日の両日、石巻市や塩釜市などを6人のライダーが自転車で縦走しました。16日には石巻市の渡波海岸でピースロード海岸清掃^{わたのは}を行い、97人が参加。今回は釣りやバーベキューも行い、他の清掃ボランティア団体とも交流しながら活動しました。

長 野

7月22日、長野県佐久市から長野市までの77キロ、翌23日は野尻湖から関山までの15キロと長野市内の5キロを合計8人のライダーが自転車で縦走。23日には長野県庁と長野市役所を表敬訪問し、「PEACE MESSAGE」を届けました。



長野市役所で担当者に「PEACE MESSAGE」を手渡すライダー代表



雨の中を疾走するライダーたち

埼 玉

8月28日、さいたま市の「さいたまスーパーアリーナ」前広場から日高市の「高麗神社」までの33キロを30人のライダーが走行。高麗神社で行われた到着セレモニーでは、埼玉韓国婦人会の歌や舞踊が披露され、国際的雰囲気。宮司から高麗神社と高麗郡の歴史について説明を受け、参加者は祈祷殿で世界平和の祈りを捧げました。

三重・岐阜・滋賀

昨年10月に「朝鮮通信使」が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界記憶遺産に登録されたのを記念し、7月21日と28・29日の3日間実施。世界平和と文化交流に力を入れてきた韓国系の曹溪宗総本山高麗寺（京都府南山城村）をスタートし、各地にある韓国民団・朝鮮総連の支部の表敬訪問などをしながら、滋賀県彦根市までの240キロを走破しました。



岐阜のライダーから滋賀のライダーに平和のバトンが引き継がれた（滋賀県彦根市）

新 潟

7月21、23日の2日間にわたって縦走を行い、総勢200人が参加。出発地点となった新発田市の「道の駅加治川」では「38度線歓迎集会」が開催され、青年たちのダンスやコーラス隊の歌で会場は盛り上がりました。

山 口

8月9日、朝鮮通信使が上陸し滞在した地にある阿弥陀寺公園（下関市）で、到着歓迎セレモニーが行われました。韓国に造詣の深い有識者が下関と韓国の心情的絆の深さについてメッセージを語りました。



「歓迎集会」にはたくさんの人々が集まった



到着歓迎セレモニーで



大きな被害を受けた三原家庭教会所属の教会員宅で祈禱する徳野会長（右から4人目）

徳野会長が広島県の豪雨被災地を訪問 三原、呉両家庭教会で特別集会

徳野英治会長は8月18、19日の両日、7月の西日本豪雨で被災した広島県を訪問しました。

18日朝、徳野会長は広島空港に到着したその足で、豪雨で被害に遭った東広島教区三原家庭教会所属の教会員の自宅を訪問し慰労しました。

午前10時半からは、三原家庭教会（三原市）で「東広島教区特別集会」が行われ、約170人が参加しました。

朴洗烈・東広島教区長パクファンヨルの司会で行われた特別集会では、金満辰第4地区長キムマンジンと方相逸復興局長の激励の言葉のあと、徳野会長が約2時間にわたってメッセージを語りました。

その中で徳野会長は、「日本宣教60周年2万名大会」（7月1日）を始めとして「西日本豪雨被災地訪問」（7月）、「岡

山1万名大会」（7月22日）、「中南米希望前進大会」（8月）までの一連の行事の様々なエピソードを紹介しながら、真のお母様の事情、心情、願いを分かりやすく語りました。

翌19日午前、北広島教区呉家庭教会で「地区合同礼拝」が行われ、同教区の教会員がおよそ200人集まりました。

合同礼拝では、尹幸成・北広島教区長ユンシユンと金満辰地区長の挨拶に続いて徳野会長が説教を行い、西日本豪雨災害の被災者を慰労・激励。そのうえで、真のお母様の偉大さについて「私たちの不足な部分を裁かない忍耐力」「天の父母様との直接的因縁の深さ」の2点を挙げて証しました。

同日午後、徳野会長は被災した2家庭を訪問。徳野会長の祝祷の際には両家庭ともに感謝の涙を流し、天の父母様と真の父母様からの愛を実感するひと時となりました。



①三原家庭教会で行われた特別集会でメッセージを語る徳野会長



②呉家庭教会所属の女性教会員を慰労する徳野会長



ボランティア活動を行う韓国 CARP のメンバー



UPeaceが岡山・倉敷の豪雨被災地でボランティア 韓国CARPメンバーも駆け付ける

8月16日から8月19日にかけて、韓国 CARP や南東京教区希苑家庭教会、北大阪教区の3つのグループが西日本豪雨で甚大な被害を受けた岡山県倉敷市を訪れ、ボランティア活動を行いました。

8月16日、「日本の食口や国民のため直接精誠を尽くしたい」との思いを胸に文相弼・韓国 CARP 会長が、他の韓国 CARP のリーダー3人と共に到着。活動拠点となった倉敷家庭教会で豪雨被害の状況や家庭連合平和ボランティア隊 UPeace の取り組みについて説明を受けたあと、被害を受けた地域を視察しました。

17日、18日の両日、韓国 CARP の一行は、本山勝道・日本 CARP 会長などと共に、被災した家屋で床下の泥だしなどの作業を行いました。

18日の活動終了後、韓国 CARP 一行は、やはり西日本豪雨で甚大な被害を受けた広島県に移動。北広島教区の尹宰成教区長のもとを訪ね、韓国 CARP が募った義援金を手渡しました。

一方、希苑家庭教会の家庭青年1人と祝福三世の中高生3人の計4人のほか、北大阪教区の青年メンバー7人も18、19日の2日間、倉敷家庭教会を拠点に同市内で支援活動を実施。土嚢の運搬や床下に溜まった泥の撤去作業などを行いました。

岡山県内ではそのほか、東大阪教区藤井寺家庭教会成和青年部（7/31～8/3）、第4地区の成和学生（8/4～8/5）、福岡教区成和学生部（8/6～8/8）、東神奈川教区青葉台家庭教会成和青年部（8/7～8/9）などが支援活動を行っています。



①地元住民と記念撮影をする北大阪教区の青年メンバー



②尹宰成・北広島教区長に義援金を手渡す文相弼・韓国 CARP 会長



①講演する浅川勇男先生 ②主催者挨拶をする南晃誠教区長 ③青年メンバーによる力強いダンス ④全体で記念撮影

“世界平和は家庭の愛と和合から” 群馬で「孝情文化フェスティバル」開催

「世界平和は家庭の愛と和合から」をメインテーマに8月5日、群馬県前橋市内の会場で「孝情文化フェスティバル in 群馬」(主催・同実行委員会)が盛大に開催され、外部のゲスト約2000人を含む4000人以上が参加しました。今大会は、昨年の3000名大会に次ぐ“長成期”レベルの大会であり、「1万名基盤を造成した教区には、私が行く」という真の父母様のみ言を群馬教区のメンバーたちの夢として取り組んできた通過点としての大会でもありました。

当日の午後3時から、会場のサブイベントエリアではチャリティバザーや子供たちが楽しめる「キッズランド」、模擬店など様々なブースを開設。また、写真コンテストへの参加希望者が殺到し、イベント会場は一時身動きがとりにくいほどの大盛況になりました。

本大会に先立ち、午後5時半からコンサートが行われ、7月の西日本豪雨災害の被災地支援のための義援金募集の映像や、今大会の案内ポスターの掲示に協力してくれた1500店舗への感謝の気持ちを込めた映像が流されました。

午後6時、本大会のオープニングでは、ロックバンドによる迫力ある歌と青年メンバーのダンスで会場は最初から盛り上がりました。

「群馬ファーズ」の壮年100人による「宇宙戦艦ヤマト」の大合唱に続いて、女子高生が「孝情スピーチ」を行い、不

登校に苦しみながらも親の愛と真のお父様の自叙伝のみ言に触れて立ち直り、親に対して孝情を誓い、天の父母様に感謝の思いを捧げました。

真の父母様の業績と群馬県での活動を紹介します映像上映のあと、南晃誠・群馬教区長が主催者挨拶を行い、フェスティバル開催の趣旨を説明。また田中富広・第1地区長(副会長)は、群馬の壮年メンバーの雄姿に触れ、「男のロマンを持ち続け、幸せな家庭、社会、国をつくってください」と激励しました。

来賓による祝辞などに続いて、メインスピーカーとして浅川勇男先生が講演。群馬県から戦後5人の総理大臣が出たことを称賛したうえで、「群馬県の代表的な言葉は『かかあ天下と空っ風』ですが、この言葉の本当の意味は『おらがかあちゃん(お母さん)は日本一』という意味です」と述べ、群馬県民も知らない言葉の意味を感動的に語ったあと、自叙伝と書写の恩恵について証しました。

その後、参加者全体で書写の実践と全員に配られたミニだるまへの目入れを行いました。

大会後半のエンターテイメントでは、婦人メンバーによる華麗なフラダンスと、青年メンバーによる力強いソーラン節のダンスが披露されました。

億万歳のあと、最後にお楽しみ大抽選会が行われ、閉会となりました。



①天正宮博物館で記念撮影 ②釜山の第1聖地で祈る子供たち ③講義前にゲームをして打ち解ける子供たち



小学生129人が信仰の祖国で聖地巡礼 第26回「韓国サマースクール」

家庭教育局 成和子女部長
齊藤 安正

8月6日から13日までの7泊8日間、韓国の聖地を巡礼する「韓国サマースクール2018」が開催され、日本各地から小学校5・6年生129人が参加しました。

参加者たちは、大阪南港と山口・下関港の2カ所からフェリーで出発し、韓国・釜山港に到着。韓国家庭連合出発の地である釜山市の「ボンネッコール」から聖地巡礼をスタートしました。ボンネッコールの第1聖地(天父山頂上)に今回初めて上がることができ、北からの避難直後の何も無い中で日本にも食口が増え、教会が広がるよう祈られた真のお父様の心情に触れる時間をもちました。また今年(2018年)は日本宣教60周年ということもあり、お父様が崔奉春(日本名 西川勝)宣教師に日本宣教の使命を託された「甲寺」を見学しました。

清平のHJ天苑では天宙清平修練苑のご協力で、五つの樹での祈祷、讃美役事、特別祈祷室祈祷の恩恵を受けて、内外ともに聖別された体で天正宮博物館と「天地鮮鶴苑」建設現場を見学することができました。

祈りやみ言カード、その時々を受けるみ言を通して、神様を感じる子供たちも多いですが、感受性の豊かな小学生教育には本物に触れることがとても重要です。真の父母様が生活され、血と汗と涙の精誠を尽くさ

れた聖地を巡ることは、何にも代えがたい貴重な体験(教育)であることが分かります。

また、サマースクールの特徴が班長を務める留学生たちとの触れ合いです。自分たちの少し先を行くお兄さん・お姉さんが祈ったり、証しをしたり、出し物をしたりする姿から多くの刺激を受けるとともに、寝食を共にする1週間の中で、たくさんの愛を受けることができます。最後は涙を流して「別れたくない」「また会いたい」と天の父母様と真の父母様を中心とした兄弟姉妹、家族となり、感謝と感動の中でフィナーレを迎えて閉会しました。

渡韓前にみ言訓読や精誠条件を行って準備をするかしないかで心情面・心霊面における恩恵に大きな違いが生まれます。今後の取り組みのポイントとしては、家庭と教会学校における事前教育を重視し、その土台の上で参加できるようにしていきたいと思えます。

韓国留学できなかった子女のために「サマースクールをしたら良いんだね」と始めてくださった真の父母様の愛と心情と願いに沿ったサマースクールとなることができよう、今後も努力して参ります。

サマースクールを成和子女部の締めくくりの場として、より一層活用していただけたらと思います。

岐阜、西・北大阪、兵庫で「天運相続孝情奉献礼式」

岐阜教区(8月7日)と西・北大阪教区(8日)、兵庫教区(9日)で、韓国・清平修練苑から講師を迎えて「2018天運相続孝情奉献礼式」が行われました。讚美役事のあと、孝情奉献書が奉納され、参加者は熱い祈りを捧げていました。



①全体で讚美役事(岐阜) ②特別講義を行う李命官副苑長(西・北大阪) ③孝情奉献書の奉納(兵庫)

西広島教区が「夏の書写祭り」

西広島教区は8月19日、広島家庭教会で「広島 夏の書写祭り」を開催し、約570人が来場しました。浅川勇男先生が真のお父様の自叙伝の一節である「幸福は常に私たちを待っています」をテーマに講話したあと、心を込めて自叙伝の書写を行いました。



①書写祭りの参加者 ②キッズルームで遊ぶ女の子

岡山で「天宙既成祝福式」

8月19日、岡山教区で「岡山2018天地人真の父母 孝情天宙既成祝福式」が行われ、新たに9組の祝福家庭が誕生しました。新郎新婦たちは、主礼の青木大教区長から「天国という字は『二人の国』と書きます。夫婦が二人でともに行くところが天国なので夫婦の絆が重要です」との激励のメッセージを受け、喜びと感動のなかで新たな出発をしていきました。



東東京教区が「青年コンファレンス」



東東京教区青年部は8月11日、新宿家庭教会で「青年コンファレンス」を行い、約110人の青年メンバーが参加しました。同イベントは「青年が主体的に新しい文化を創る」という趣旨で企画。佐野忠國大学生部長による基調講演やフォーラムなどのあと、食事が振る舞われ、参加者たちは復興していました。

那覇家庭教会が「希望の家庭講演会」

8月19日、沖縄教区那覇家庭教会の南部地域と石垣島で、咸鎮模教区長を講師に迎えて「希望の家庭講演会」が行われました。参加者した有識者は「とても勉強になりました。家に帰ってさっそく家族を愛する実践をします」と感想を述べていました。



富山で「成和キャンプ」



富山教区成和部は8月18、19日の2日間、国立立山青少年の家で「成和キャンプ」を行いました。閉校式に、徳野久江会長夫人を迎え、2020年に向けて気持ちが高まったキャンプとなりました。